



# 長



## 歴史と伝説に彩られた町

刀剣のふるさと、長船。その歴史をたどると――  
崇神天皇の御代吉備津彦命が吉備地方を平定した際に  
劍工がその造兵部員として従軍し、  
気候・風土・交通・原料の供給など、  
長船を最適地として選んだ。  
それが長船刀鍛冶の発端といわれている。  
ところで、この優れた環境は、現在にもそのまま当てはまる。  
温暖な気候、豊富な水量  
豊かな実りを授けてくれる肥えた土地。  
今後、豊かな緑に囲まれた田園のまちとして栄えてゆく長船  
いまその条件はすべて整っている。

# 舟



'85長船町勢要覧

鍛冶屋千軒と謳われた長船

中国地方随一といわれるほどの経済力を誇った福岡。

その華やかな歴史を生み出した吉井川が、

天正年間の大洪水によりその繁栄の街を壊滅状態へ追い込んだ。

そして現在では、

長船にとつてなくてはならない好環境を授けてくれる吉井川となっている。

不幸の歴史は二度と繰り返されてはならない。

高梁川、旭川とともに岡山三大河川のひとつ。

延長133km、流域面積2,060km<sup>2</sup>、灌漑面積2331km<sup>2</sup>

※一九四五年の大風水害を契機に、

たびたびの大水害に住民がたまりかね、

下流の改修工事促進を全流域あげて政府に猛運動。

ついに一九四六年より、建設省直轄河川として

大規模な国営工事が始まる。

# 長船町制30周年を迎えて

本年は昭和60年代、すなわち岡山県全体が意欲を燃やす瀬戸大橋時代の幕開けの年です。また、長船町にとっても町制30周年を迎える意義深い年であり、この記念すべき年をひとつのステップとして未来へ大きく飛躍発展していきたいと考えています。

さて、このようなときにあたって、長船町勢要覧を刊行する運びとなりました。先人や諸先輩、町民の方々が残した偉大なる功績を基盤に、“燃えろ岡山 やろうえ長船”をスローガンとして、教育・文化・福祉・産業の調和のとれたまちづくりを積極的に推進している長船町の姿をいくぶんなりともご理解いただければ幸いです。

尚、この小冊子刊行にあたって、関係者並びにご協力いただいた方々に厚くお礼申し上げますとともに、今後のご協力をお願いする次第であります。

昭和60年10月

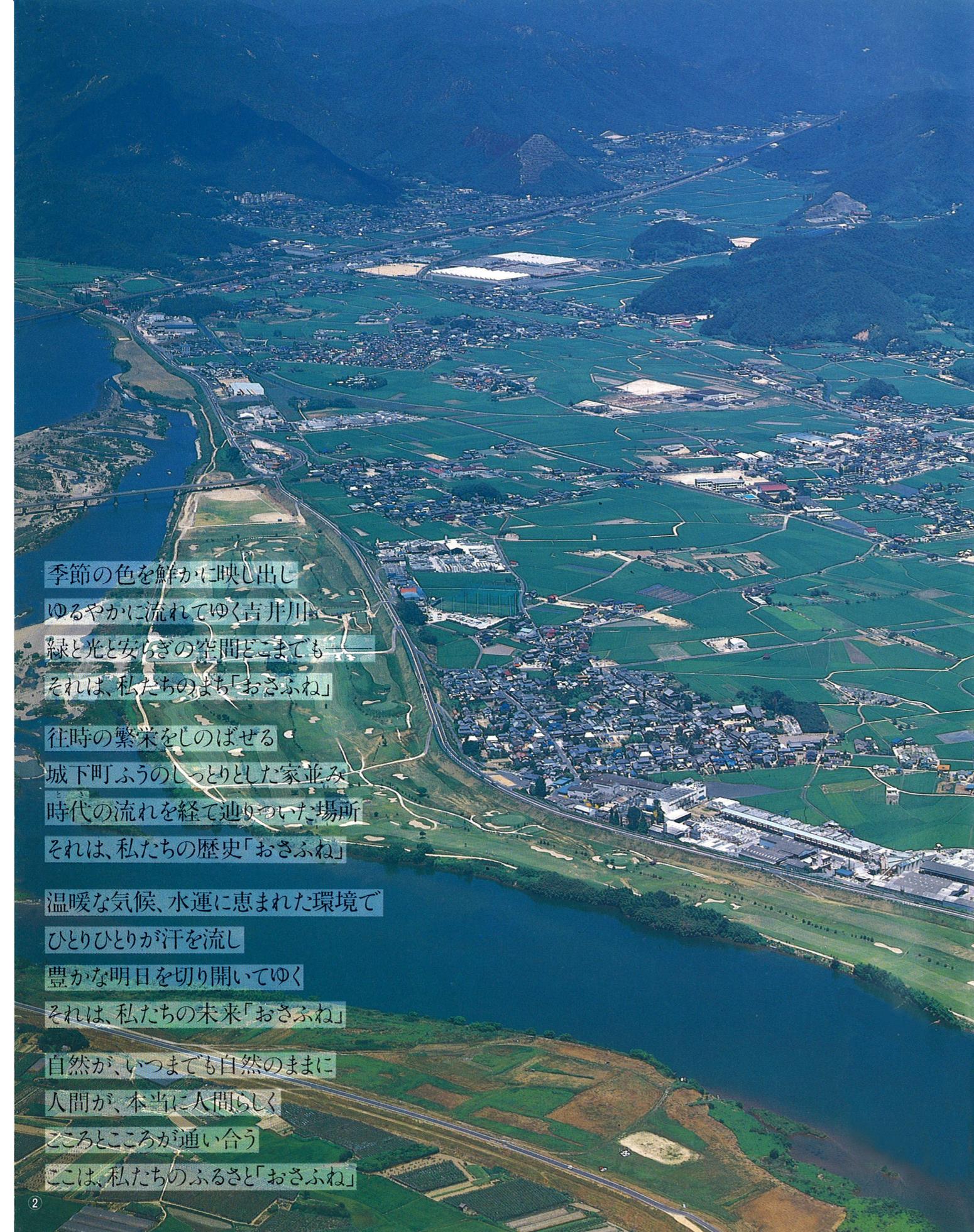
長船町長 松村敏夫



町勢要覧

## もくじ

あゆみ	10
文化	14
コミュニティ	22
保健／医療	26
福祉	28
教育	30
環境／開発	34
産業	38
ガーデンタウン	44
行政	48
資料で見る長船	
長船のプロフィール	52
人口／財政	53
行政／議会／消防	54
教育／産業	55
町民の一日	56



季節の色を鮮やかに映し出し  
ゆるやかに流れてゆく吉井川  
緑と光と安らぎの空間どこまでも  
それは、私たちのまち「おさふね」

往時の繁栄をしのばせる  
城下町ふうのしっとりとした家並み  
時代の流れを経て辿りついた場所  
それは、私たちの歴史「おさふね」

温暖な気候、水運に恵まれた環境で  
ひとりひとりが汗を流し  
豊かな明日を切り開いてゆく  
それは、私たちの未来「おさふね」

自然が、いつまでも自然のままに  
人間が、本当に人間らしく  
ところどころが通い合う  
ここは、私たちのふるさと「おさふね」



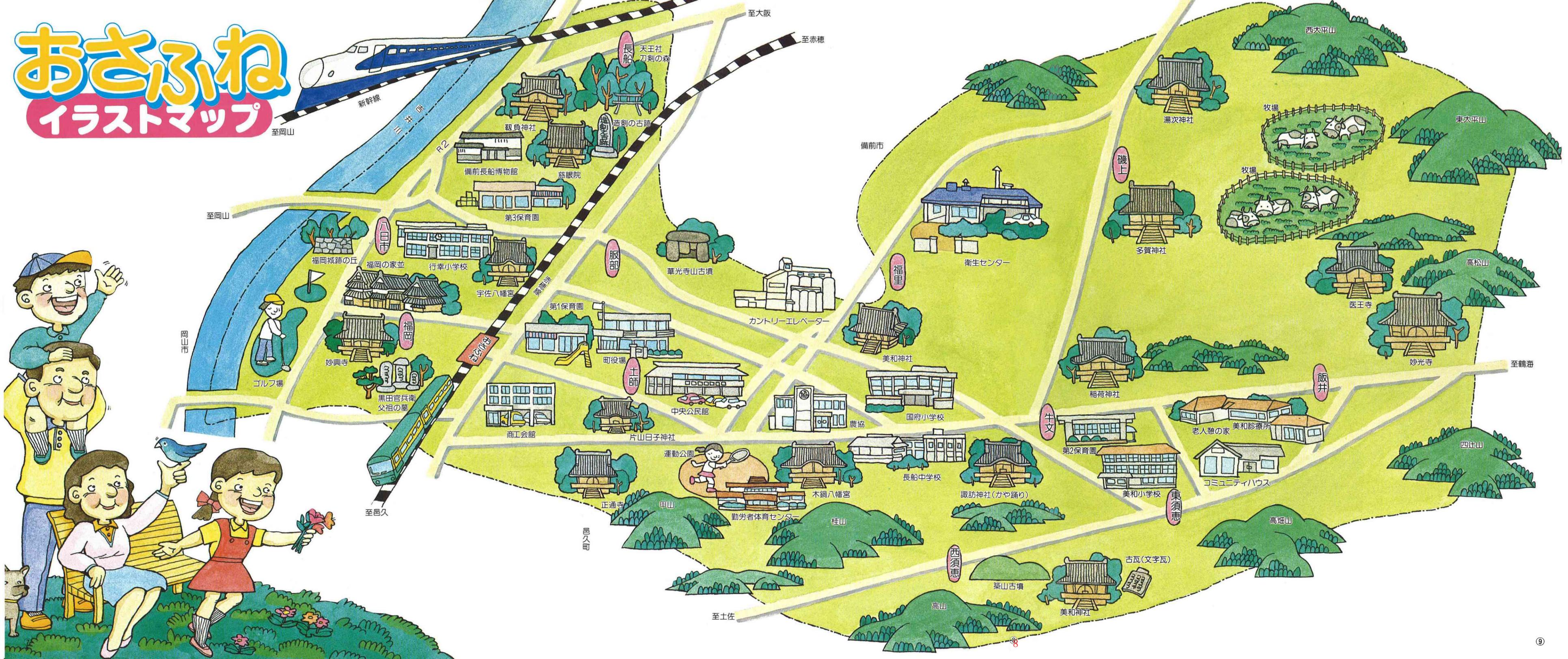
疾風怒濤の時代――  
数えきれないほどの戦さが起こり、  
無数のドラマが繰り広げられていった。  
勝ち誇る者、傷ついて敗れ去ってゆく者。  
その明暗は、どこまでも厳しい。  
己れのみだけが頼れる時代であった。

そんな中で、備前長船の刀を愛した武将も多い。  
源平の昔、備前友成作の太刀を佩した源義経・平敦盛。  
御番鍛冶の七割を備前刀工で固めた後鳥羽上皇。  
兼光に刀を鍛えさせた足利尊氏や、長船光忠を  
愛蔵した織田信長。  
また、上杉謙信も自慢の小豆長光で武田信玄  
と戦ったという。

このように隆盛を誇った備前長船の刀鍛冶も  
現在では、その形跡もほとんど残されてはいない。  
それでも、刀に魅せられ、数々の名刀を生んだ  
巨匠たちの魂は、今でも生きています。  
残された美しい輝きの中に。  
そして、私たち日本人の心の中に。

# おさふね

## イラストマップ



新幹線  
至岡山  
至大阪  
至赤穂

至岡山  
至邑久

至邑久

至土佐

至鶴海

市三岡

邑久町

備前市

福里

土師

牛文

東須恵

西須恵

至岡山

R2

備前川

福岡城跡の丘

福岡の家並

行幸小学校

宇佐八幡宮

妙興寺

黒田官兵衛父祖の墓

ゴルフ場

商工会館

第1保育園

片山日子神社

運動公園

甲山

勤労者体育センター

正通寺

木鍋八幡宮

長船中学校

諏訪神社(かや踊り)

美和小学校

第2保育園

美和診療所

老人憩の家

コミュニティハウス

高畑山

西大平山

東大平山

高松山

四辻山

綴鳥神社

備前長船博物館

慈眼院

造剣の古跡

天王社

刀剣の森

長船

華光寺山古墳

カントリーエレベーター

美和神社

衛生センター

磯上

多賀神社

牧場

牧場

医王寺

妙光寺

飯井

稲荷神社

美和診療所

老人憩の家

美和診療所

古瓦(文字瓦)

美和神社

築山古墳

高山

美和神社

美和神社

## 昭和30年、戦後の混乱の中で産ぶ声をあげた長船町。



発刊にあたって

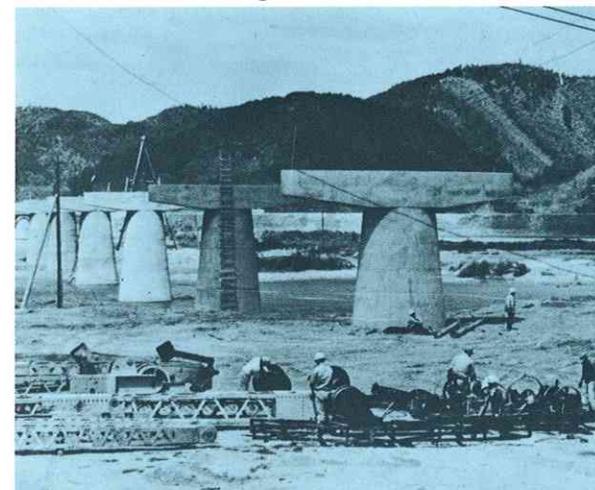
長船町長  
松村敏夫

太陽と緑と空間に囲まれた私たちの長船町は、吉井川の豊かな流れとともに、かつては「鍛冶屋千軒」などと呼ばれ、わが国第一の「刀剣王国」として隆盛を誇った由緒あるまちです。昭和30年町制施行以来、このような華やかな歴史を次の世代へ伝えながら、先人、諸先輩方のたゆまぬ努力と町民の方々のご協力によって新しい時代のまちづくりが積極的にすすめられてきました。

そして、町制30周年を迎えたいま、長船町は町民の「和」によって大きく発展しようとしています。待望の町民運動場、備前長船博物館の完成や、駅周辺に新興住宅が立ち並ぶなど、まちは急速に変ぼうし、歴史と住みよい環境が調和したまちづくりが着々と実現しつつあるといえます。



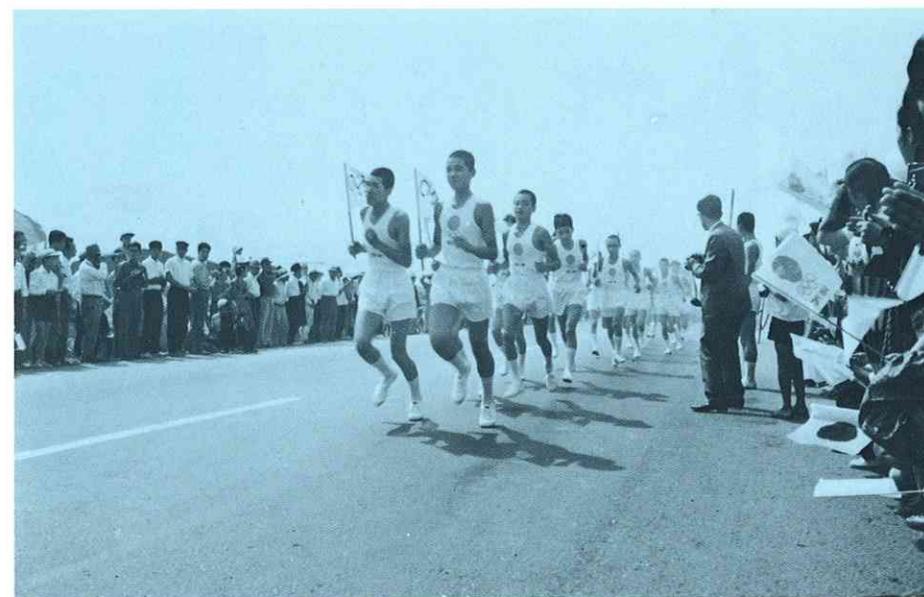
昭和30年長船町が誕生(当時の職員)



昭和38年に完成した備前大橋



昭和38年念願の新庁舎が完成



東京オリンピックの興奮は長船にも――

### 昭和30年代

- 昭和30年 3月31日 美和村、国府村、行幸村が合併  
長船町となる
- 昭和37年 国鉄赤穂線開通
- 昭和38年 庁舎新築
- 昭和39年 保育園新築

### 町民憲章

わたしたちは、千古の歴史に誇りをもち豊かな未来を約束された長船平野の緑の中で生活している長船町民です。この憲章をくらしの合言葉に、みんな手を取り合って、住みよい町をつくりましょう。

- 一、健康を大切にし、たくましく生きる心と体をつくりましょう。
- 一、働くことに喜びと生きがいをもち楽しい職場をつくりましょう。
- 一、郷土の伝統を生かし、新しい文化の創造に努めましょう。
- 一、信頼と愛情を深め、明るい社会と、家庭をつくりましょう。
- 一、秩序と規則を守り、平和で希望に満ちた、町をつくりましょう。

(地方自治法施行30周年記念・昭和52年11月3日制定)



町木 くろがねもち(あくら)



町花 きく

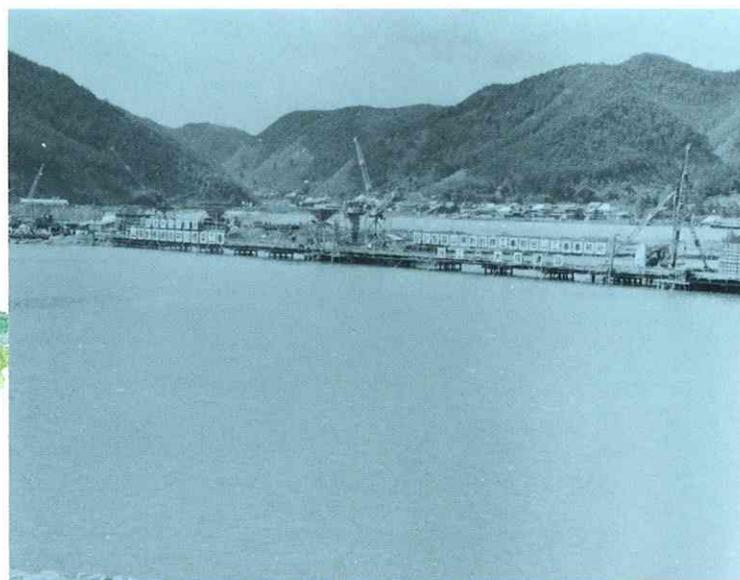
長船町は、理想のまちをめざして着実に歩み、現在へ——。



昭和51年の水害で国府地区の大部分が浸水



昭和50年町制20周年を迎えて



昭和44年山陽新幹線の建設



長船中学校、学校給食共同調理場が落成



昭和40年代

- 昭和47年 長船町中央公民館新築
- 昭和49年 第2保育園新築

昭和50年代

- 昭和50年 行幸小学校増築
- 昭和51年 台風17号による災害を受け、災害救助法適用を受けた
- 昭和52年 長船中学校移転新築工事完成  
学校給食共同調理場新築
- 昭和53年 長船中学校格技場新築
- 昭和54年 老人憩の家、美和診療所新築  
国府小学校舎改築
- 昭和55年 第3保育園新築  
行幸小学校プール改築  
国府小学校屋体新築
- 昭和56年 新農業構造改善事業運動広場造成工事  
行幸小学校舎改築  
県営干拓地等農地整備事業着手(三沖ほか)
- 昭和57年 美和地区コミュニティハウス新築  
新農業構造改善事業ほ場整備(西谷地区)  
橋梁整備事業  
行幸小学校屋体新築  
運動広場照明施設新設  
備前長船博物館新築
- 昭和58年 勤労者体育センター新築  
土地改良総合整備事業(前田地区)  
美和小学校屋体新築
- 昭和59年 美和小学校舎新築  
新農業構造改善事業ほ場整備(和田地区)

# 数々の伝説と絢爛たる歴史に彩られた福岡の町並み。



往時の繁栄を物語る「福岡の市」(京都・歎喜光寺蔵)

数々の伝説と文化遺産によって語り継がれてきた福岡の歴史。鎌倉中期の「一遍上人絵伝」の中の「福岡の市」では、織物、米、魚、備前焼の壺を売る商人、市女笠の女、烏帽子狩衣の武士など当時の賑わっていた様子が美しい風情をたたえて描き出されています。

このような繁栄も今の福岡の町並みからは想像もできませんが、わずかに残された「七小路」「七井戸」という呼び名や、整然と区割された古い家並みが、当時をしのばせています。



往時をしのばせる古い家並み

1483年に起こった歴史に残る大激戦「福岡合戦」をはじめ、数々の攻防の歴史を生んだ福岡城。現在、福岡城跡の位置についてはさまざまな説がありますが、現ゴルフ場の中央に見える稲荷山であるという説が最も強いようです。



福岡合戦など数々の歴史の舞台になった福岡城跡の丘<県指定郷土記念物>



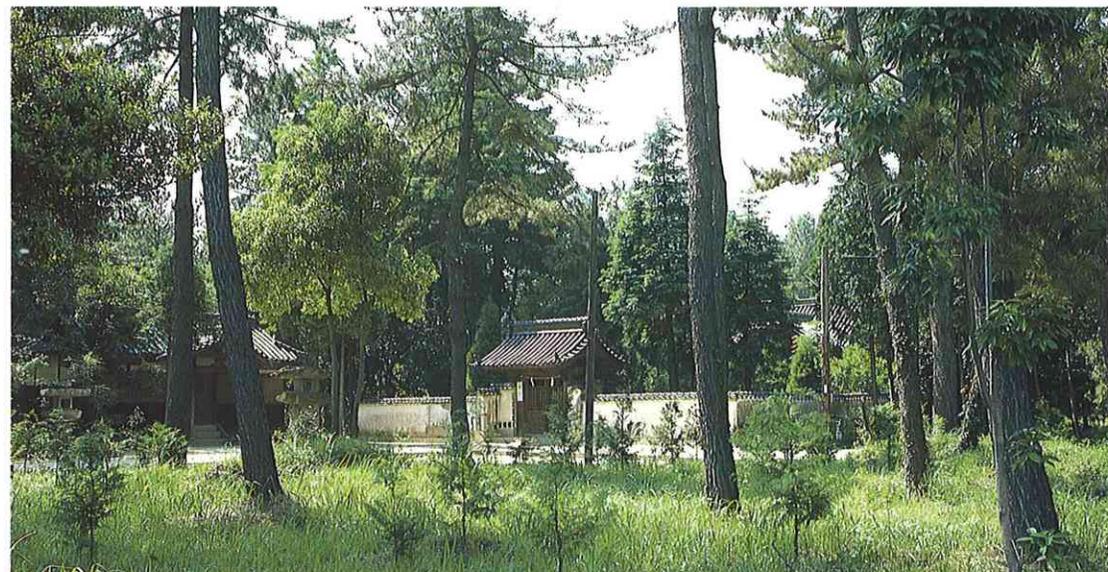
再び栄えゆく福岡の町並み

## 残された貴重な文化遺産に、遠い歴史の息づかいが聞こえてきます。



備前刀匠の霊を供養する備前刀工菩提寺(慈眼院)

長船には、かつての隆盛を物語る、貴重な文化遺産が数多く残されています。備前長船刀匠の霊を供養する備前刀工菩提寺。備前刀工の守護神として崇められた天王社刀剣の森。寺域二町余十坊一院とその豪壮をうたわれた教意山妙興寺。これらかけがえのない文化遺産の中から、遠い歴史の息づかいが聞こえてきます。



刀工の守護神として崇められた天王社刀剣の森(県指定郷土記念物)



一世を風靡した横山元之進祐定が寄進した梵鐘

備前長船といえば、まず刀を連想するように、長船には、刀にまつわる文化遺産が数多く残されています。祐定寄進の梵鐘もそのひとつ。江戸時代以降、水害の難を逃れて長船鍛冶の伝統を守り続けた横山祐定家、その末期に一世を風靡した横山元之進祐定が寄進したものと伝えられています。

現在、この梵鐘は、町の文化財に指定され、長船刀工菩提寺(慈眼院)内に置かれています。

広高八幡宮文字瓦  
〈町指定文化財〉



広高八幡宮(現美和神社)は、江戸時代、社領17石2斗を有し、別当大聖寺のほか、神職2人、神子、禰直24人が仕えていたと伝えられています。

現在、美和神社には、町指定文化財として、広高八幡宮文字瓦が保管されています。

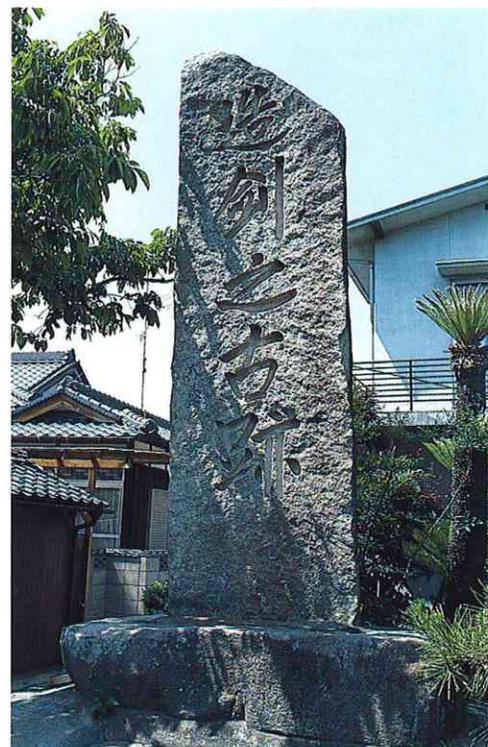


かつては豪社を誇った教意山妙興寺

# 長船の歴史を築いた、先人たちの偉業を偲んで。



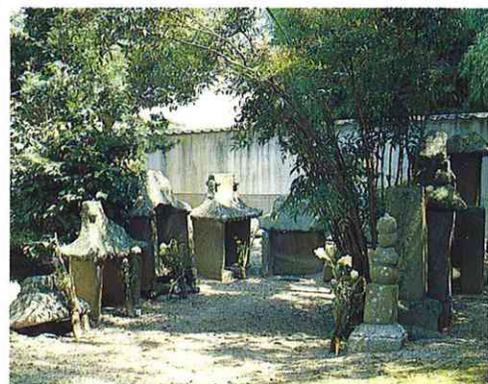
華光寺山古墳<県指定史跡>



横山元之進祐定が屋敷内に建立した造刻の古跡碑



家形石棺を持つ前方後円墳、築山古墳、<県指定史跡>



黒田官兵衛父祖の墓と伝えられる墓石

県指定史跡には、築山古墳、華光寺山古墳があり、特に築山古墳は5世紀末から6世紀初頭にかけて、畿内の大王権をめぐる勢力消長と、吉備地方豪族の動向を示す重要な古墳であるといわれています。

また、古跡や墓なども多く、長船の歴史をひもとく重要な手がかりとなっています。

# 土と炎の芸術——長船の備前焼。



備前焼の素朴な美しさはこの窯から生まれる



わが国の六古窯(瀬戸・常滑・丹波・越前・信楽・備前)の中でも最も古い歴史を持つ備前焼。古墳時代末期の須恵器から備前焼になるまでの約1000年間、窯の煙は消えたことがないともदैいわれています。

現在、この全国に名高い備前焼は、その中心地である備前市伊部で主につくられています。長船町にも多くの作家が集い、個展やグループ展を開くなど、精力的な活動を行なっています。



伝統の技が生んだ作品の数々

鍛冶屋千軒、かつての刀剣王国が生み出した伝統の技。



青木盛家氏(長船在住)による日本刀鍛錬



昭和4年に絶えた長船鍛冶の伝統は、藤原俊光氏(県指定無形文化財)によって再び復興をみたが、さらに、鍛錬場を持つ備前長船博物館が昭和57年に完成しました。館内には、備前刀や鍔、備前焼などの文化財の展示はもちろん、毎月2回日本刀公開鍛錬を行なっています。



昭和59年9月より開館した備前長船博物館



備前長船博物館副館長 長岡 甫

その昔、刀は日本人の象徴として多くの人々を魅了してきました。現在でこそ生活と無縁のものとなり、実物の刀をじっくり見る機会も少なくなりましたが……。博物館としては、こうした人を含めてより多くの人々に、名刀の数々を見てもらい、何かを感じてほしいですね。やはり日本人と刀とは切っても切れない関係。きっと通じるものがあると思うのです。なぜなら、刀剣とともに流れた歴史に比べると、現代なんてほんのわずかですからね。



館内には名刀や備前焼などがズラリ

# スポーツを通じて、ふれあいの輪を広げます。



長船町運動広場と勤労者体育センターがともに完成。日々高まるスポーツへの関心に応えられる器づくりが着々とすすめられています。

休日にはスポーツやプレイを楽しむ人でいっぱい



体力と精神力なら負けないゾ



屋内スポーツも思いのまま、勤労者体育センター



ナイター設備はただいまフル稼働



スポーツを通じてふれあいの場を広げよう、という考えのもとに、各種スポーツ教室も開かれています。若い心と体を健やかに育む少年剣道教室、余暇を生かしたバレーボール教室、など。

また、屋外ナイター設備を持つ運動広場では、1日の勤めを終えた人々が集い、さまざまなスポーツに熱中。いま、長船町は、スポーツを愛する人々で意気盛んです。



何事もチームワークが大切、バレーボール

## 語り、喜びを分かち合う心のふるさと、長船。



コミュニティの拠点、中央公民館



毎年10月、豊年を祝って行なわれる山車(だんじり)巡行



夏の夜を彩る長船まつり



時には著名な講師をお招きすることも

長船町教育委員会教育長 太田和雄



いま、公民館や運動施設を中心に、コミュニティの輪が確実に広がっているといえますね。もちろん、町民運動場など施設が充実してきたことも一因にあげられますが、やはりいろんなことにチャレンジしたいというみんなの参加意欲が強くなったことが一番大きいでしょう。

今後の公民館は、「みんなのふれあいの場」として、施設の整備はもちろん、種々の楽しいイベントなども企画し、これらの意欲に応えていきたいと思っています。

長船町では、さまざまなコミュニティ活動が活発に行なわれています。その拠点である中央公民館では、多くの講演が開かれ、人々のふれあいの場を形成。また、育児、生活セミナーから一般教養まで幅広い分野の公演も開かれ、生涯教育の一端として注目を集めています。



コミュニティハウス

腕を磨こう！習字教室



しとやかに美しく、日本舞踊



全員が主役、婦人コーラス

健やかな心と体が、明日への活力を生み出します。



地域住民の健康増進をはかる美和診療所

健康は、町民みんなの願いであり、幸せな明日を築く原動力です。それだけに、町民ひとりひとりに自分の健康は自分の手で、という自覚を促し、健康増進や予防に対する施策を積極的にすすめる必要があります。

長船町では、乳幼児からお年寄りまで、町民の誰もが適切な保健医療サービスを受けることができるよう、疾病予防、定期集団検診など地域に密着した健康増進をすすめています。



集団検診にまわる検診車



早めの治療で不安を解消



ボク、大きくなったかな



カロリー計算もしっかりと、栄養教室



新米ママさん頑張って! 母親学級沐浴実習



美和診療所歯科医師 矢部 高

健康な時ほどおろそかになりやすいのが健康管理。病気とは直接関係なくても、疲れた時には体を休める、体調が悪い時には無理をしない、など自分の体へのちょっとした心使いがほしいですね。また、それが明日の健康に結びつくのだと思います。

現在、美和診療所には歯科だけでなく、人材、設備の充実、急患への対応などたくさんの課題を抱えています。しかし、やはりひとりひとりが自分の健康は自分でつくるんだという自覚を持って幸せな日々を送ってもらいたいですね。



# 町民ひとりひとりが「生きがい」を見出だせるまちづくり。



ふれあい学級ではグループ活動も盛ん

豊かで住みよいまちづくりの第一歩は、お年寄りや児童、障害者など、社会的に弱い立場にある人々が安心して暮らせる地域社会を実現することです。

なかでも、ますます増加する老人人口に対応し、お年寄りの人たちに老後を楽しく幸せに過ごしていただけるよう、生きがい対策のひとつとして老人憩の家などの福祉施設の設置やボランティアの育成に力を注いでいます。



暖かい心で1日奉仕



ボクが渡らせてあげる



元気がなにより、ゲートボール



保育園ではみんながお友だち

長船町では現在、働くお母さんたちのために、保育園を3園設け、園児たちの福祉向上をはかっています。  
また今後は、公園や児童遊園地のような子どもたちが安心して遊びを楽しめる施設を積極的に設置するなど、子どもたちの健やかな成長を願ってさまざまな児童福祉施策を展開していきます。

# 若い可能性の芽を大切に育て、豊かな人間性を培います。



自然に囲まれた美和小学校

明日を担う子どもたちが、豊かな知性と情操、創造力を身につけ健やかに育つよう、教育環境の整備が着々とすすめられています。

現在、長船町には、幼稚園3園、小学校3校、中学校1校がありますが、それぞれの発育段階に応じた基礎学力を身につけさせることはもちろん、児童生徒の体力づくりや道徳教育、生活指導にも十分力を注ぎ、知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざします。



みんなと楽しく、いただきまーす



泳ぎは小さい時ほど上達が早い



何事も基本が大事、今からじっくりと



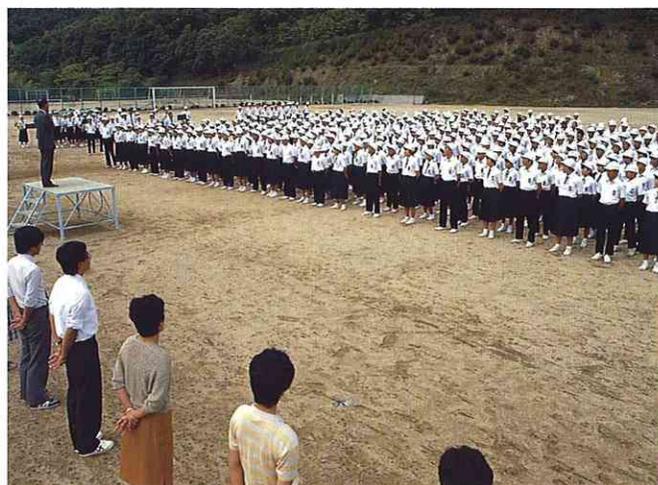
学校規模の適正化、通学距離の適正化、交通安全の確保などを考え、行幸、国府、美和のそれぞれの地区に小学校を設けています。

また、年々増加する児童生徒のため、校舎の増改築や教育施設整備も積極的に行ない、教育環境の向上をはかっています。

# 次代を担う若者たちの個性と創造力を伸ばせる教育を実現します。



町を一望に見渡せる長船中学校

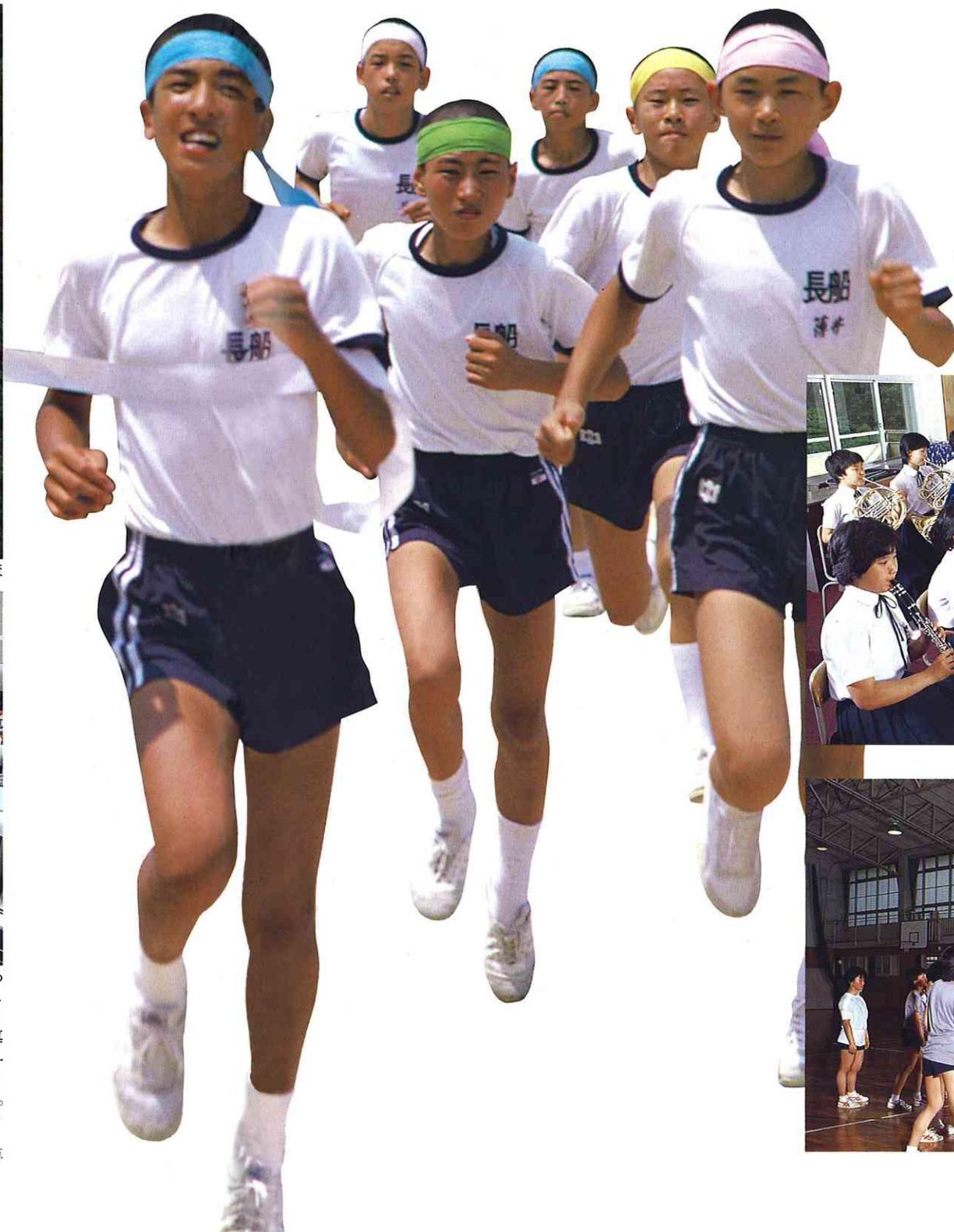


ピリッとした緊張感、運動場での朝礼風景



この一瞬一瞬が将来の宝となる

長船中学校では、授業や課外イベントなどの団体教育はもちろん、生活指導や進路指導などにも情熱を傾け、生徒ひとりひとりの可能性を大きく伸ばせる教育をめざしています。  
また、L.L.教室などの専門教室も数多く設けており、明日を担う若者たちが大きな夢をいっしょに勉強にはげんでいます。



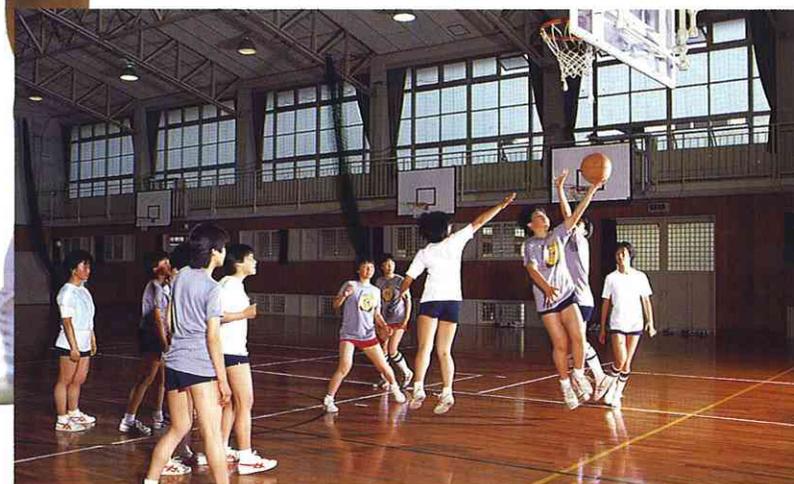
教育とは字のごとく、知識や道徳などを教え、心と体を健やかに育むこと。教えるという一方的な行為だけでは、豊かな人間性を培うことはできません。ですから、常に生徒たちの個性や能力を考え、教師間でも連携プレーをはかりながら、可能性の芽を大きく育てていきたいと思えます。  
幸いなことに、教育環境に恵まれたこの長船中学校では、明るくて素直な子どもたちが多く、教育の理想のカタチに近づきつつあるようです。



長船中学校校長 東原卓郎



可能性を試したい、クラブ活動



青春の汗を爽やかに流そう

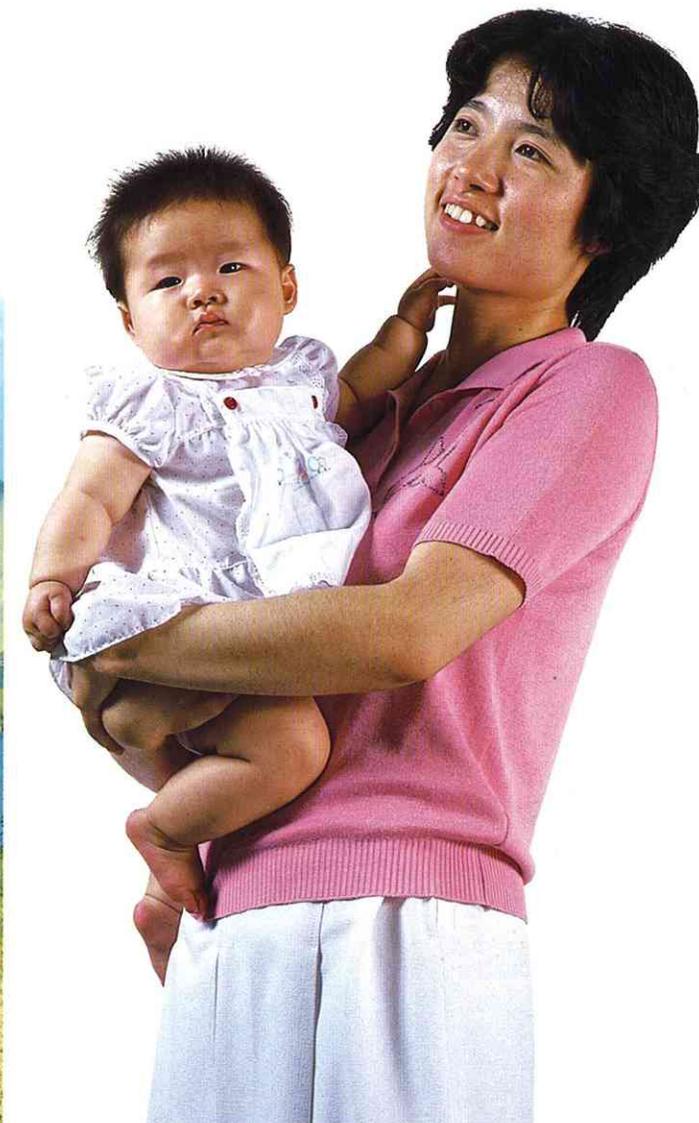
自然を守り、安らぎを誇れる住みよい環境を。



清潔で美しいまちづくりは、自分たちの手で



有事に備えて、訓練にも熱が入る



交通事故ゼロをめざして

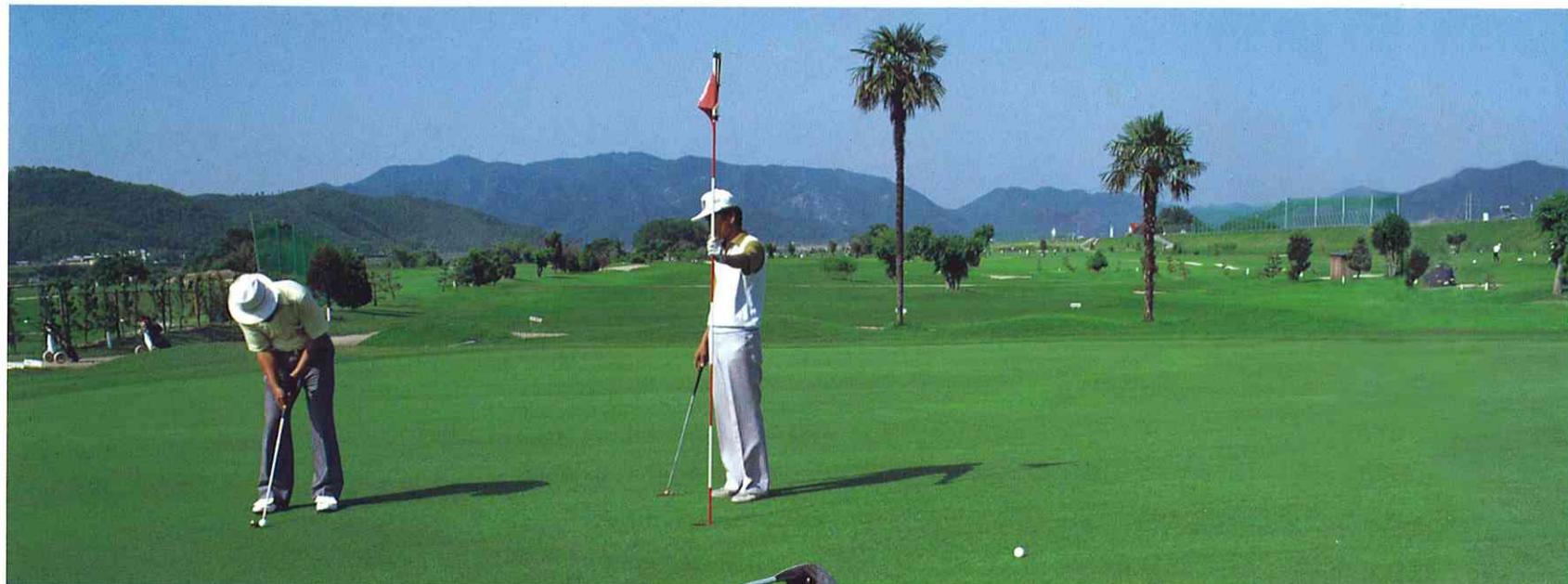


長船町全体のし尿処理をする衛生センター



一般家庭のゴミを収集

新たな発展へ向かって、調和のとれたまちづくりを推進。



豊かなグリーンに囲まれて腕も冴えわたる——



環境に恵まれた新興住宅地、福岡住宅



高層住宅も増加中



住みよい環境づくりを着々と推進

# 恵まれた環境を生かして、明日の長船をつくる農業。



眩しい光の中で爽やかな汗がはじける



恵まれた環境と肥えた土地が豊かな実りを約束

長船町東部の整備事業をはじめ、全町域にわたって基盤整備が計画的にすすめられています。また、多くの農家が大型機械を導入するなど、近代化、合理化に意欲的で、新しい時代の農業に積極的に取り組んでいます。



大型機械の導入で刈り入れもらくらく

米麦の乾燥調整を一手に引き受けるコントリーエレベーター



吉井川の豊富な水を送りこむ灌漑用水路



# 時代に即応した新しい農業をつねに取り入れてゆきます。



農業の明日を担う農協会館

長船町の農業は、稲作が中心ですが、年ごとの有効な土地利用や多品目を組み合わせるなど、生産性の高い農業を推進しています。恵まれた環境の中で作られた野菜は、いずれも良質で、また省力化、生産性向上を生む大型ハウス栽培も盛んです。



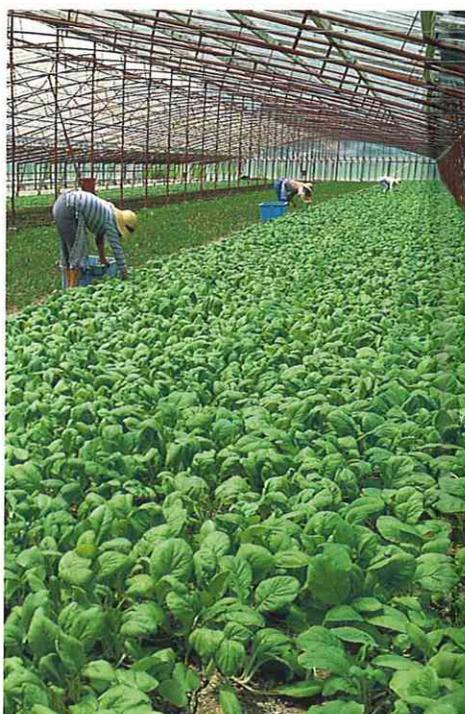
願いが通じて今年も豊作



長船町農業協同組合組合長 雪吉貞雄

これからの農業は、将来的なビジョンに立って、あらゆる状況に対処できるよう柔軟な施策を展開していかねばなりません。その意味でも、農業後継者の養成や自立経営農家の経営がこれからの課題といえますね。

農協では、経営の基本となる近代的、専門的技術や新しい時代の農業のあり方を積極的に学び、長船町の農業に取り入れていきたいと思えます。



大型ハウスで生産性大幅アップ



壮大な風景を前に放たれた乳牛たち

酪農も長船町の農業の重要な柱。現在、乳牛を中心として町内数ヶ所で飼育が行なわれています。特に、長船町東部には、山の中腹の広大な土地を生かした本格的な牧場があり、長船町の酪農の重要な位置を占めています。しかし、その牧場も、厳しい状況に直面しており、これからの動向が注目されます。

# 豊かで活気のあるまちを築く商工業。



商工業の発展を支える商工会館

長船町の商業は、商店数、販売額から見てもまだまだ十分とはいえませんが、人口増加にもない、商業の振興にも積極的に力を入れていく方針です。商工会を中心に、個性ある商店づくり、共同店舗や商店街の建設なども考え、豊かで活気のあるまちづくりに貢献していきます。



買物客で活気ついた商店内



大手企業も積極的に誘致



工場というと、煙突から煙がモクモク、公害をまき散らすという悪いイメージがありますが、長船の工場は全然違うみたいですね。会社の方が公害対策などをキチンとやってくれていますので、私たちも安心して働けるわけです。また、住んでいる所から職場が近いというのがうれしい。通勤も楽だし、何かと便利ですからね。



長船町商工会会長 万代人士

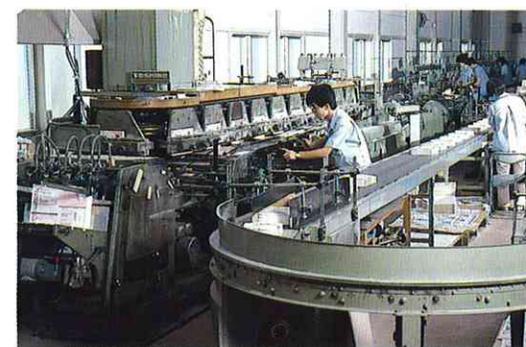
商工業の発展は、まちにうるおいを与え、暮らしよい環境をつくるもの。福岡住宅などの新興住宅が立ち並び、将来的にも人口増加が見込まれる今、活気のある商店の育成や企業誘致などを積極的に行ない、産業振興をはかる方針です。もちろん、この恵まれた自然環境を大切に守っていくためにも、優良商店、優良企業ということが第一条件ですが…。



縫製工場



食品工場



製本工場

長船町の工業の就業者人口は、約42.3%。しかし、流出人口が流入人口を大幅に上まわっており、まだ町内の労働力に見合うだけの職場が確保されていないのが現状です。そこで、土地利用計画、生活環境の確保を最優先しながら、公害を出さない優良企業を選挙誘致していきます。

緑に囲まれた明るい田園のまちをめざして——。



## 創造・自立・連帯で築く ガーデンタウンおさふね。



### 慶 よろこび

#### 融和した社会とあわせな生活

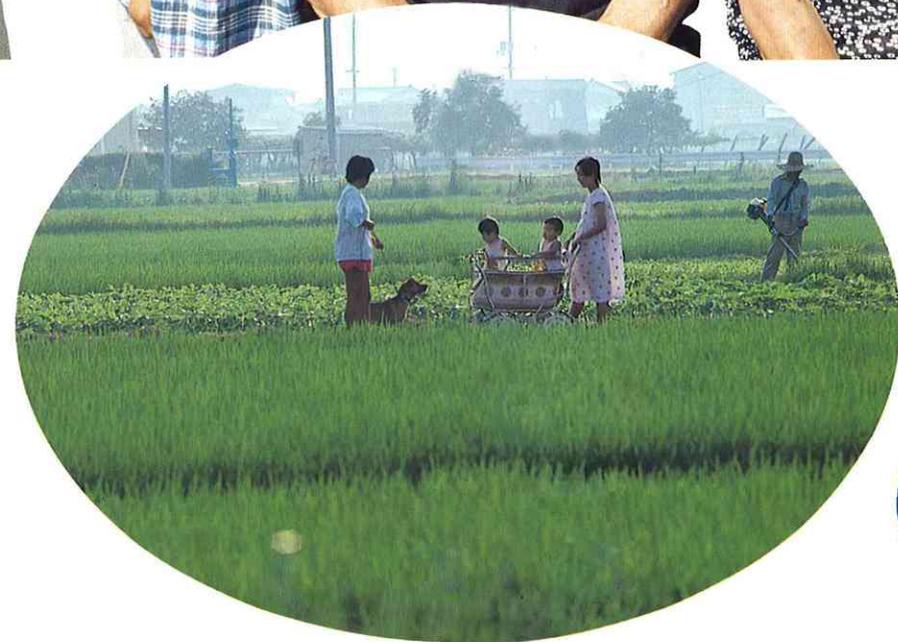
おさふねのむらづくりは、そこで生産活動や生活をする住民みんなの運動です。行政や団体まかせにせず、ともに協力しあって具体的な行動を起こすことが、豊かで活力ある地域社会の実現につながります。そのためには、住民ひとりひとりが、どうすれば地域がよくなるかということを常に前向きに考えていくことが何よりも大切です。



### 景 けしき

#### 環境を生かした住みよい地域づくり

おさふねの自然や立地を生かした住みよい環境をつくりだすには、長期的な視野に立った町土地利用計画と、それに対する住民の合意が必要です。特に環境は、行政と住民が一体となって維持保全にあたらなければならないので、住民ひとりひとりが愛郷精神を持つような運動を展開していきます。



### 経 いとなみ

#### 活力ある農業と豊かな暮らし

いま、農業が衰退の傾向にあるとはいえ、おさふねの町では、農業が基幹産業であることに変わりはありません。しかし、将来の展望に立って、どのような状況変化にも対応できるように体質改善を積極的にすすめる必要があります。

# ひとりひとりの声を暮らしに生かす行政・議会。



暮らしよいまちづくりに努力する長船町役場



課長会議で行政上の問題を解決



住民サービスの窓口



長船がかかえる幾多の難問を解決する議会



町民の声を暮らしに反映、議員活動



町長も積極的に住民と対話



長船町議会議長 福池 勉

町議会は、町民の意思の代表機関です。あくまでも住民側の立場になって、行政と連携をはからねばなりません。

現在、町議会は、町民の手で選ばれた16名の議員によって構成され、年4回の定例会と、必要に応じて開かれる臨時会を通して、条例制定や予算の決定などを行っています。

また、住民みんなの声を正しく行動に移すため、議員は総務、文教厚生、産業土木の3つの常任委員会のいずれかに属し、それぞれの分野の議案、請願、陳情など、付託事項の審査や調査活動にたずさわっています。



邑久郡北部にあり、1955年(昭和30)に行幸、国府、美和の3村が合併し成立。古くから全国に知られた備前長船の名刀に因んで、長船町と名づけられた。吉井川が三角州を形成した左岸の地域にあたり、概して平坦で、温暖な気候と美しい自然に恵まれた住みよい町である。



この町章は、全国に名高い備前長船の名刀に因んで、刀の鐔を圖案化したものである。中の3つの円は、行幸、国府、美和の3村を指す。

町章

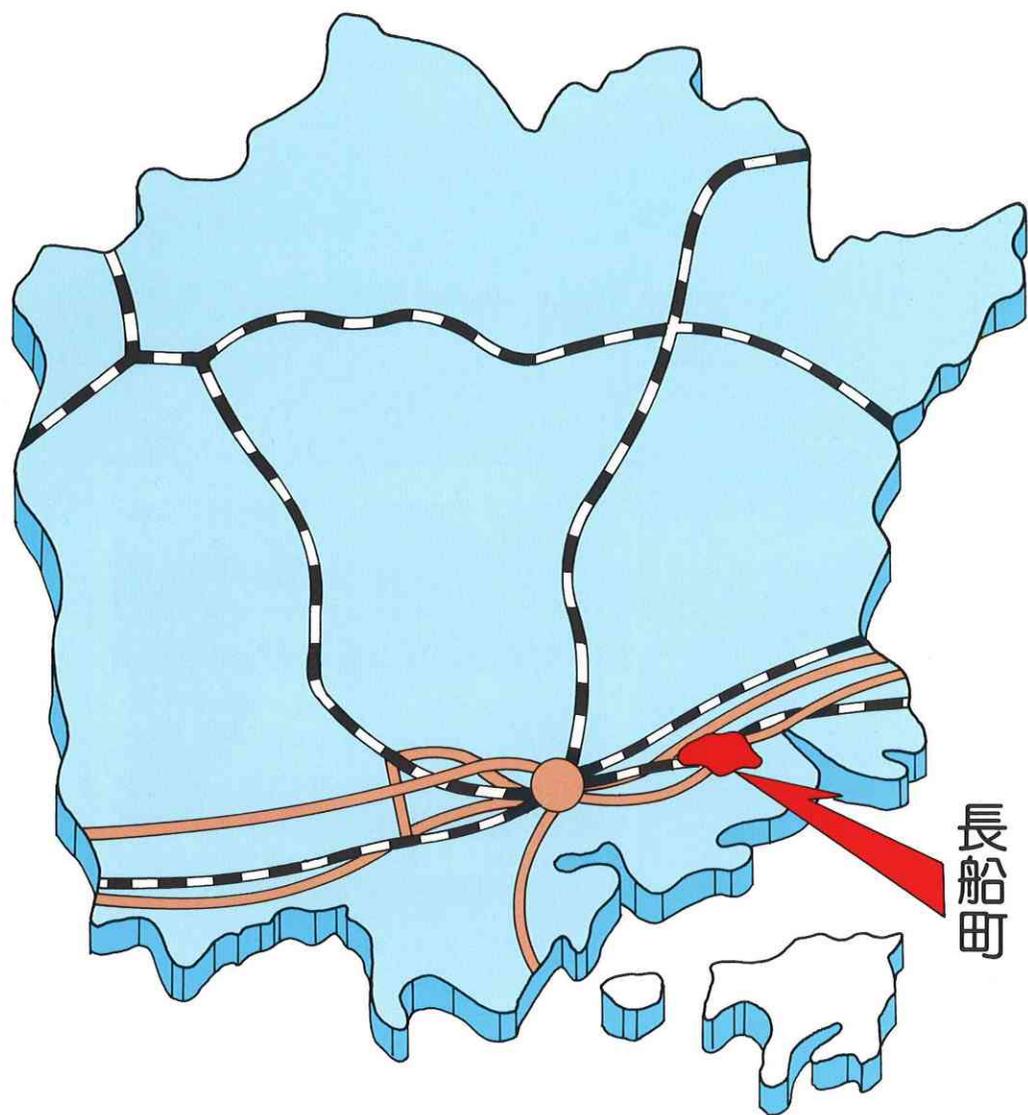
## 資料で見る長船



備前国長船左衛 尉兼光

# 長船のプロフィール

## 位置



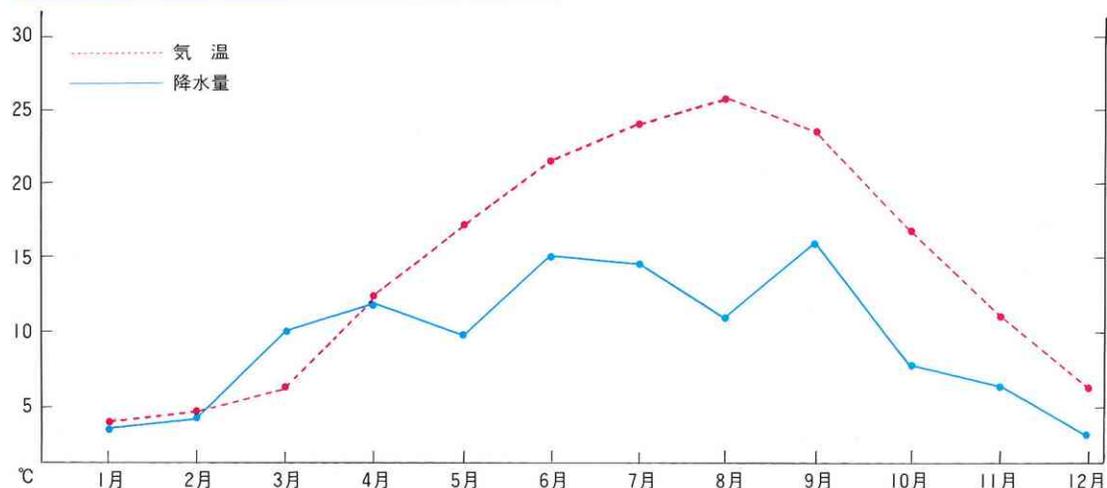
## 面積

地目別面積 (単位ha・%)

区分	面積	構成比
総面積	29,330	100.0
田畑	9,484	32.3
山林	13,155	44.9
宅地	2,005	6.8
原野	472	1.6
その他	4,214	14.4

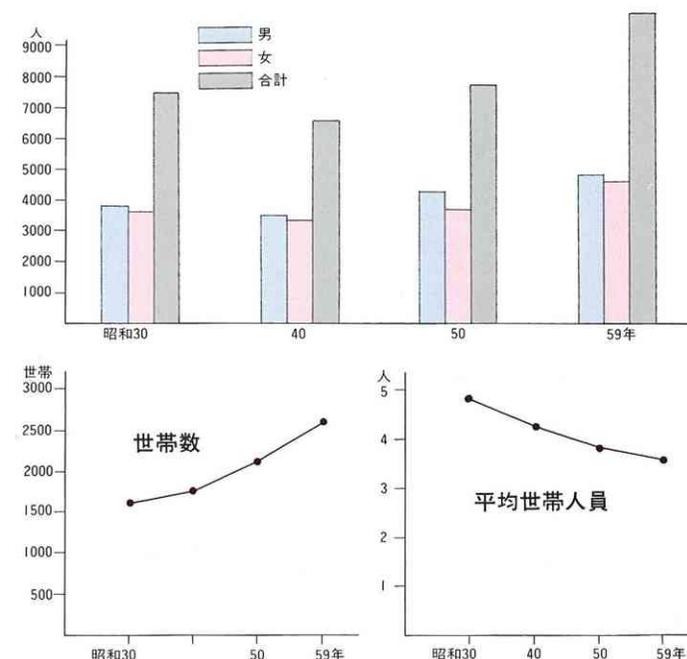
## 一年間の平均気温と降水量

(昭和59年)

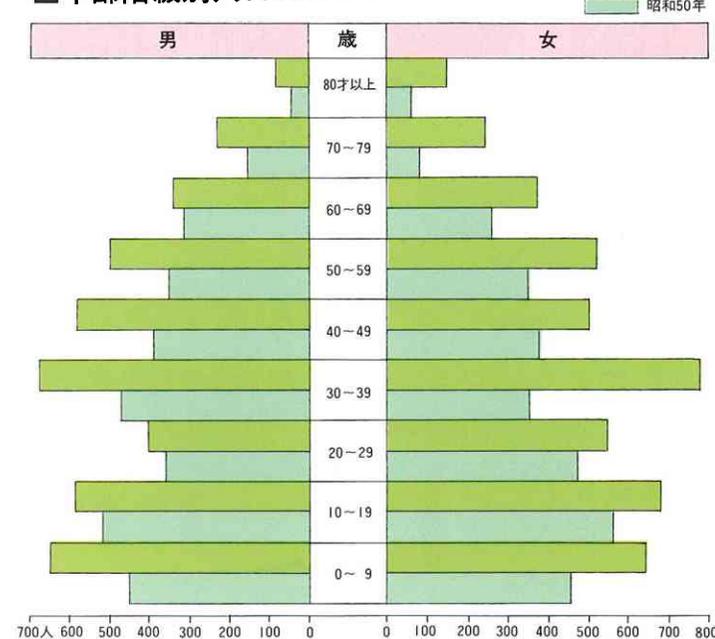


# 人口/財政

## 人口

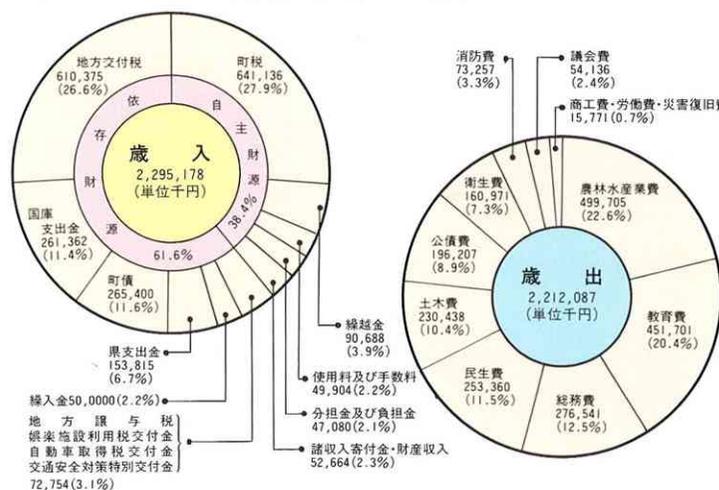


## 年齢階級別人口 (国勢調査による)



## 財政

### 昭和59年度一般会計決算の状況



### 昭和59年度特別会計決算状況

(単位: 千円)

会計別	昭和59年度決算額	
	歳入	歳出
国民健康保険	325,032	312,571
農業共済事業	77,045	42,155
住宅新築資金貸付事業	64,831	47,889
生活改善資金貸付事業	1,362	65
町立美和診療所	19,867	19,091
老人保健事業	334,703	326,276
水道事業	111,691	109,558

### 一般会計決算の変化

(単位: 千円)

年度	53	54	55	56	57	58	59
歳入	1,463,764	1,636,743	1,951,420	1,878,811	2,238,771	2,254,017	2,295,178
歳出	1,376,436	1,573,732	1,884,363	1,797,126	2,126,002	2,163,329	2,212,087

### 町税の変化

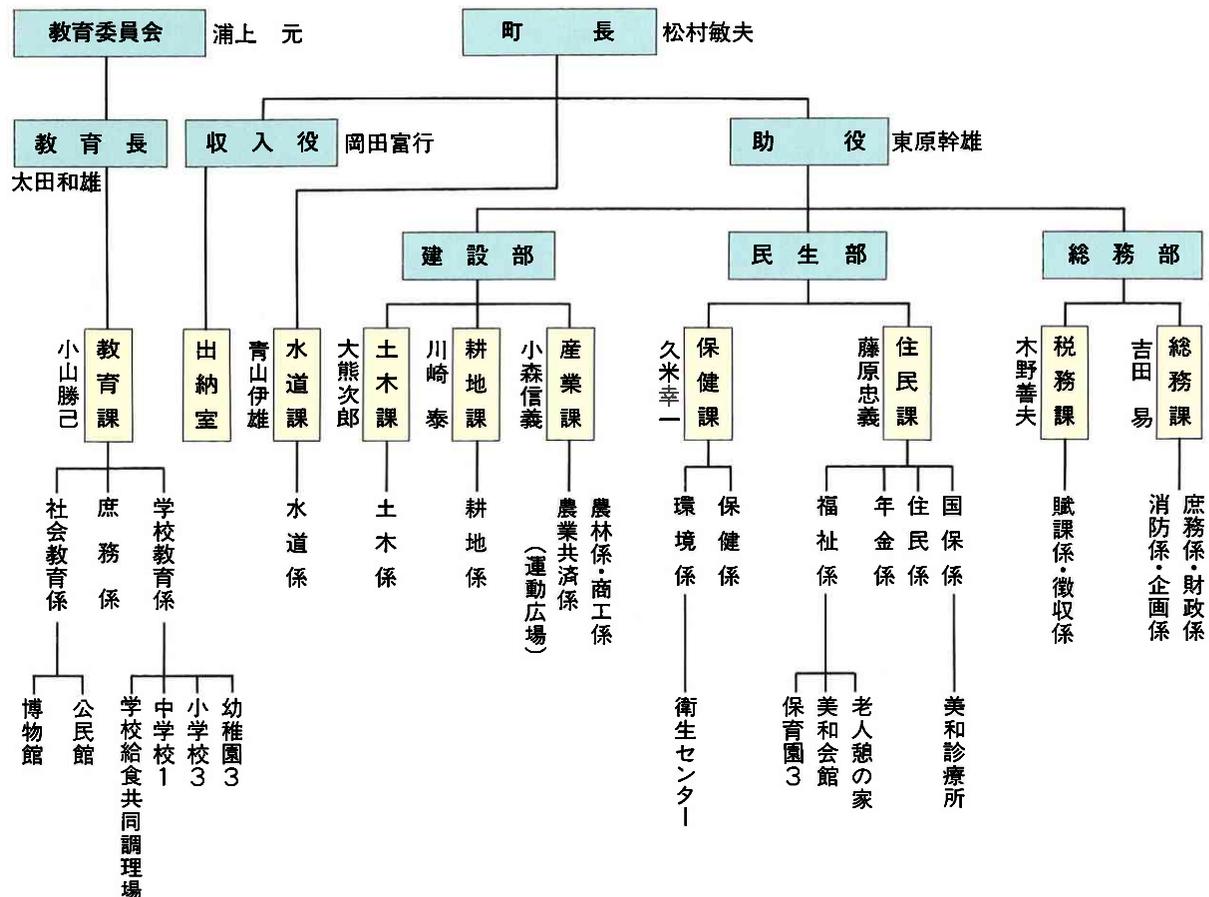
(単位: 千円)

年度	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
町税	214,385	259,826	299,549	358,479	378,761	437,341	486,389	530,938	591,904	641,136

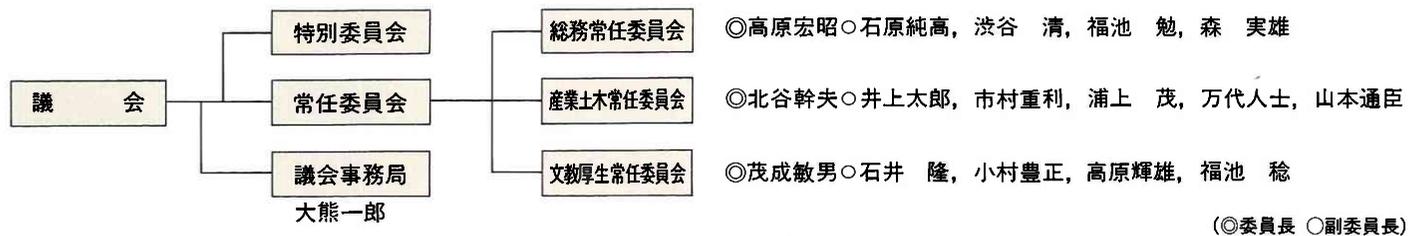
行政・議会

行政機関

- 農業委員会
- 産業課担当
- 総務課担当
- 議会事務局担当
- 議員
- 議事課担当
- 固定資産評価審査委員会
- 税務課担当
- 監査管理委員会
- 選挙管理委員会



議会



消防

消防団の編成装備



施設器材現有数

自動車ポンプ	可搬式小型動力ポンプ積載車	小型動力ポンプ	防火水槽			消火栓	
			40mm	20~40mm	20mm以下	150mm以下	150mm以上
1	3	4	4	10	12	226	60

教育

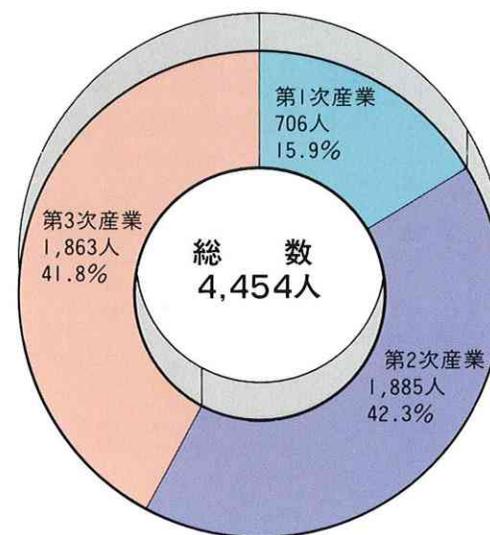
(昭60.5.1学校基本調査)

区分		クラス数						児童生徒数						教員数	学校数		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6			計	
幼稚園	男	6						73人							73		3
	女							64							64	6	
小学校	男	4	4	5	6	4	特殊15	64	81	88	81	85	77	476	16	3	
	女							51	64	74	83	67	83	422	23		
中学校	男	4	5	特殊14				78	105	75				258	15	1	
	女							82	87	68				237	11		

産業

産業別人口

(昭55国調)



農業

(農業センサス)

年次	専業農家	一種農家	二種農家	計
昭45	154戸	336戸	769戸	1,259戸
50	92	80	1,021	1,193
55	102	102	898	1,102

(昭55農業センサス)

区分	飼養農家数	飼養頭数
乳牛	23戸	509頭
肉用牛	9	205
豚	14	970

経営耕地面積

(昭55農業センサス)

年次	30a未満	30a~50a	50a~70a	70a~100a	100a~150a	150a以上	計
昭55	211戸	184戸	194戸	212戸	207戸	94戸	1,102戸

商業

(昭57調)

商店数	従業員数	年間販売額
163	516人	654,714万円

工業

(昭58調)

工場数	従業員数	製造品出荷額
39	891人	1,971,863万円

## 町民の暮らし

出生 106人 (3.4日に1人)	死亡 70人 (5.2日に1人)	転入 512人 (17時間に1人)	転出 387人 (23時間に1人)	結婚 136人 (2.7日に1人)	離婚 20人 (18日に1人)	ごみ 2,555t (1日あたり7t)	上水道 1,073t (1日あたり2.9t)
長船町(乗客) 776,500人 (1日あたり2,127人)	交通事故 31人 (12日に1件)	火災 3件 (122日に1件)	救急活動 150件 (2.4日に1件)				

人口密度 1 km <sup>2</sup> あたり 332.9人	一世帯あたり 人員 3.6人	加入電話施設数 2,500台 (100世帯あたり96台)	乗用車台数 2,574台 (100世帯あたり99台)	たばこ喫煙 本数 成人1人1日 7.3本	教員1人当り 児童及び生徒数 (小学校) 23人	教員1人当り 児童及び生徒数 (中学校) 19人	高校進学率 98.6%
医師 8人	警察官 2人	消防 常備4人 非常備140人	町職員 113人	保母 13人	商店 163	工場 39	予算 2,295,178千円 (1人あたり242千円)

## 長船町勢要覧

■昭和60年10月発行

●発行／岡山県邑久郡長船町

●制作／フジイ印刷株式会社